

今週の News

1. 福岡支部の活動報告
2. 2022 年度協会受託（休眠預金活用事業）の概要
3. 地域デザイン研究会信州・松本フォーラムのお知らせ

■福岡支部の活動報告（坂井副会長、牧常務理事）

JSURP では2022年度の活動方針の柱の一つとして、地域に根ざした活動との連携を掲げ、支部活動の積極的な支援、支部一本部の連携の充実を行っています。この一環として、JSURP の副会長と常務理事各 1 名を福岡支部理事より選任し、福岡県及び九州全域における様々なまちづくり活動団体・都市計画関連団体と連携した活動の展開を実践しています。今回は、こうした福岡支部での意欲的活動の一端をご紹介します。

1) 第一回支部学習会

福岡支部では、会員が取り組んでいる活動の紹介をベースに、年 6 回の学習会として企画開催すること事を今年度の目標にしました。

第一回は「学習会 in 宗像」として、UR 都市機構の団地再生に取り組んでいる今長谷会員のプロジェクトでした。

令和 3 年度九州まちづくり賞を受賞したプロジェクトで、会員外も含め 30 名を超える参加があり、初回としては大成功でした。



50 年前に建設された昭和時代の集合住宅のリノベーションであり、地ビール工房、DIY SHOP、カフェ、コワーキングスペースなどのテナントが入り、外部には、妻壁を利用したボルタリング。解体した住棟の跡地は、大きな里山を囲んだ戸建住宅地で、新しいコミュニティの形成が伺えるプロジェクトです。宗像市都市計画課も交え、事業の経緯などを振り返り、これからの団地像をディズカッションし、地ビールを飲みながら和気藹々の勉強会で、大いに盛り上がりました。

2) 第二回学習会

第二回は唐津の山下正美会員にお願いした企画です。11 月 3 日は九州各地で文化行事が多く、会員の参加は多くありませんでしたが、山下会員が 20 年間関わって来た唐津の町を案内していただき、2 年前にオープンした再開発ビルの見学などを実施しました。



3) 本部との連携活動：地域主体のまちづくり出前講座

本部との連携として、「地域主体のまちづくり出前講座」の九州内での実施に協力しました。

①北九州市東田地区

今年度、八幡東田まちづくり連絡協議会のプレイスメイキングを支援しています。11 月には同協議会・北九州市立大学などの主催による東田大通り公園の活性化を目的とした社会実験「こうえん研究所」の実施を支援。支部から牧さん片江さんの 2 名が参加しました。



②薩摩川内市

同じく出前講座の一環で、市役所職員対象に地域主体のまちづくりのためのレクチャーレクチとワークショップを実施。に、内山理事、園田理事と福岡支部片田江さんが講師を務めました。

■協会からのお知らせ

①来年度の全まち開催について

協会創設 30 周年にあたる 2023 年度の全国まちづくり会議については、現在明治大学駿河台キャンパスでの開催に向けて関係機関との調整を行なっています。

②JSURP ホームページのリニューアルについて

JSURP のホームページを、よりわかりやすく、より使いやすいものに、そしてスマートフォン利用に対応したものを目途に現在基本的なデザインを検討しています。

③小林英嗣前会長の協会顧問就任

10 月 19 日の理事会で JSURP 第 3 代会長を 6 期 12 年務めた小林英嗣さんの JSURP 顧問(定款 21 条) 就任が承認されました。

■2022年度協会受託事業（休眠預金活用事業）の概要

- ・JSURPは、休眠預金活用事業（一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA））を受託し、資金分配団体として、地域の社会的課題を「まちづくり」で解決する取り組みを2020年度から開始しています。
- ・本年は、JANPIAの公募（新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠（2022年度2次））に2022年7月応募し、審査の結果、資金分配団体に10月に採択されました。
- ・テーマ「外国人と共に暮らし支え合う地域社会形成2～支え合いを豊かさにつなげるまちづくり～」
- ・JSURPは全国から実行団体を公募し、資金助成とJSURP会員及び専門家の伴走支援を行います。
- ・詳細な公募案内と2020年度事業をまとめたプランナーズ97号はこちらから参照ください。

<https://www.jsurp.jp/2022-11-1-janpia-koubo/>

①助成概要

- ・事業期間：2023年1月頃から12月末ごろまで1年間
- ・助成採択予定実行団体数：12団体程度
- ・1団体当たりの助成金額：500万円～3,000万円（団体の申請に基づき審査により決定）
- ・助成額合計：1億円

②実行団体の公募について

- ・11月1日より25日まで実行団体（行政を除く、民間公益事業を行う組織、法人格は問わず）を募集いたします。
- ・対象となる実行団体は、日本に住む外国人や長期に滞在する外国人等に対し支援活動を行っている団体です。①外国人が抱えている課題の解消、②外国人を支援する団体活動の継続性の確保、③外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成に複合的に取り組む団体を募集します。
- ・公募要領、申請書類様式等は上記のJSURPのホームページをご確認ください。

③説明会・審査会のスケジュール

<オンラインによる説明会> 11月4日（金）※終了
※説明会の内容は下記URLにて動画を公開中
<https://www.jsurp.jp/https-www.jsurp.jp-2022-11-04-online-setumeikai/>

<オンラインによる相談会>

11月14日（月）13時～11月18日（金）

※ 事前申し込み制
メールで適宜相談ください。

<https://forms.gle/54HJfYu8H7Jzmn678>

<一次審査書類締め切り> 11月25日（金）24時まで

<二次審査書類締め切り> 12月12日（月）24時まで

<審査会> 2022年12月17日（土）午前を予定
審査会では、申請団体によるプレゼンテーション（提案内容の説明と質疑応答）をオンラインで行います。

④資料提出・問い合わせ

認定NPO法人日本都市計画家協会

担当：小森・千葉

E-mail: aid@jsurp.jp

■JSURP 地域デザイン研究会信州・松本フォーラムのお知らせ

～城下町松本のこれからの観光とまちづくり～

・開催趣旨

地域デザイン研究会では、12/10（土）に信州・松本で、「アフターコロナの観光をデザインする」と題して、観光を切り口に、城下町松本のこれからの観光とまちづくりについて語り合うフォーラムの開催を予定しています！



同研究会は、石川岳男氏を座長にして、地域の歴史や文化、風土などをベースにした地域ならではの景観やデザインのあり方をテーマに、JSURP内外のメンバーが参画して2019年9月から活動しています。

今回のフォーラムは公開研究会として、地域の物語の発掘や磨き上げを念頭に、地域内外の様々な視点から、観光の今日的な課題を共有し、歴史ある城下町松本を舞台にして、松本ならではの魅力を掘り下げ、今後の観光とまちづくりに関する新たな知見の獲得を図るとともに、参加者同士の交流を深め、人的ネットワークを広げる機会にもしたいと考えています。



会場は松本城にほど近いおしゃれなカフェの2階にあるギャラリースペースです。翌日の午前中は、前日の話題提供者のご案内によるまち歩きも予定しています♪

皆様のご参加、お待ちしております。なお、定員に限りがありますので、お申込みはお早めに！

・日程

12月10日（土）13:30～16:30

・場所

CAFE & GALLERY NOYIE（ノイエ）
2階ギャラリー（大名町通り沿い）
※松本駅から徒歩9分

・プログラム

基調講演

益山 代利子（松本大学総合経営学部教授）

西川 亮（立教大学観光学部准教授）

車座ディスカッション

（話題提供）

倉澤 聡（都市計画家）、高松伸幸（ココブラ信州）

・事前申込制

定員：40名程度

近日 JSURP ホームページに掲載する案内チラシ裏面の申込書によりメール又はFAXでお申込ください。



■当面の主な予定

11月16日（水）第206理事会

11月22日（火）フォーラム部会

12月10日（土）信州松本フォーラム

12月21日（水）第207理事会